



3月11日に発生致しました東日本大震災で被災された皆様に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。
大阪青年会議所は、発災直後より義捐金口座の立ち上げや、物資の支援を行いました。
本年、義捐金、物資の提供を頂きました皆様に改めて御礼申し上げます。
また、「東北の子どもたちに笑顔を！」プロジェクトとして、石巻専修大学と連携をしながら、被災地の子どもたちに対する支援も行っており参りました。
我々が現地に送ったスマイルワゴンやテントが、子どもたちの笑顔と健やかな成長に少しでもお役に立てば幸いです。
今後も、大阪青年会議所だからこそできる支援を続けて参りますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

OJC 災害支援対策本部 本部長 臼井 将勝

【東日本大震災】

3月11日14時46分18秒、宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源として発生。マグニチュード (Mw) 9.0を記録。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ(気象庁)。この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高39.7m(9.14発表/土木学会東日本大震災特別委員会の津波特定テーマ委員会)にも上る大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。震災による死者15,842名、行方不明者3,481名。建築物の全壊・半壊は合わせて35万戸以上(12.16時点・警察庁)、ピーク時の避難者は40万人以上に上った。地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展(福島第一原子力発電所事故)。これにより、周辺一帯の福島県住民は長期の避難を強いられている。

JCI 大阪救援物資倉庫

3月22日より、八光倉庫株式会社・異倉庫(池田太八理事長提供/生野区異南2丁目)をJCI大阪専用の救援物資倉庫とし、OBの方、現役メンバー、そして一般の方々が提供して下さる救援物資の仕分け・保管場所としました。物資の受付は、阪本祐浩常任理事、「凛々しい民」創造委員会、大阪の外交推進委員会、経験則継承委員会のメンバーが担当。カーペットや、高機能な敷物、インスタントラーメンや靴下など続々寄せられる支援物資を責任をもって、被災地へ届けさせていただきました。(4月23日まで物資受付)
また、大阪青年会議所のWebサイトトップページにて、被災地の方からの、支援物資リクエスト情報を掲載することで、被災地の方と、大阪の方々の思いをつなぐ支援ができるよう努めました。

